

平成31年度 事業計画

1. 基本方針

人生100年時代を旗印に高齢者の就業割合は過去最多を更新しています。その背景には近年人手不足が深刻化し、社会に空いた『隙間』を高齢者が担っている現状があります。政府も定年延長・働き方改革など施策を次々掲げ、社会を支える側に高齢者が回っていただき社会保障給付費を抑えたい狙いがあります。経済財政諮問会議での社会保障費用（年金・医療・介護・子育て・その他）の将来推計によると20数年後には約190兆円の費用がかかり、税収だけではこの支出をまかないきれないと言われてしています。国の借金はますます増え後世にツケを回す事態となります。

身近な問題として、核家族化・単身高齢者の急増・終身雇用の崩壊などがあり、困ったときに家族・企業・地域が助けてくれるという安全網は徐々に薄れてきています。その様な中シルバー人材センターの役割はますます重要となります。わたしたちの活躍は地域のために無くてはならない存在となっています。

しかし、前向きに働きたい人や思うように働ける人ばかりではない、生活にゆとりがなく明日への不安と背中合わせで生きている人たちも多くいます。近年、シルバー人材センターも継続雇用や上記の理由での入会促進が鈍る傾向にあります。全国シルバー人材センター事業協会では6年間で全国の会員数を100万人に年平均5.8%の伸びを目標に取り組みを始めました。わたしたちもシルバー人材センターの魅力を発信し、一人でも多くの会員に入会してもらい、地域のニーズに応えられるしっかりした基盤を作っていかなければなりません。

本年度は中期事業計画の最終年度です。これまでの3ヶ年を検証していく上で『生涯現役』であるために一人一人が健康に留意して心身共に元気なそして明るい高齢者を目指し、地域に必要とされる頼りにされる存在として各種事業を行っていきたいと思います。

平成31年度 目標

● 会員数	535名
● 入会率	2.9%
● 就業率	92.0%
● 就業延人員	58,000人日
● 受注件数	5,200件
● 契約金額	314,000千円

2. 重点事項

- (1) 就業開拓提供事業の充実
- (2) 普及啓発事業の促進
- (3) 安全・適正就業推進事業の安全基準遵守
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業、総合事業・派遣事業の推進
- (5) 相互扶助等事業の実施

3. 重点事項に基づく事業実施計画

- (1) 就業開拓提供事業の充実
 - ①中期3ヶ年事業計画（第Ⅲ期）の推進（3年目）
 - ②就業機会の開拓と充実
 - ③請負・委任契約・一般労働者派遣事業の充実
 - ④総合事業（介護予防）の推進
 - ⑤仕事の平等・公平な配分会議の実施
 - ⑥独自事業（刃物・門松・シルバー工房・シルバーアンテナショップ2店舗他）の充実

- (2) 普及啓発事業の促進
 - ①年1回の広報誌発刊
 - ②パンフレットの配付・PR活動の強化
 - ③各種イベントへの積極的参加
 - ④会員の入会促進
 - ⑤市報への掲載
 - ⑥普及啓発月間でのボランティア参加促進

- (3) 安全・適正就業推進事業の徹底
 - ①安全講習会の実施
 - ②センター『安全の日』（11月21日）講習会の実施
 - ③機械メンテナンス講習会の実施
 - ④ローテーションによる適正就業の強化
 - ⑤新人研修・接遇研修・教育訓練などの実施
 - ⑥新規入会者の安全教育・安全基準の遵守

(4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業・総合事業・派遣事業の推進

①派遣事業の拡大・推進

②商品開発と販路拡大

③総合事業の取り扱い

(5) 相互扶助等事業の実施

①永年のシルバー人材センター事業貢献者の表彰